

戰時行政職權特例第六條ニ規定スル廳府縣長官ノ官等々ノ特例ニ關スル件審査報告

昭和二十年三月二十九日

委員長 窪田顧問官

委員 松井顧問官

深井顧問官

泉二顧問官

湖顧問官

大島顧問官

百武顧問官

戰時行政職權特例第六條ニ規定スル廳
府縣長官ノ官等等ノ特例ニ關スル件審
査報告

今回御諮詢ノ戰時行政職權特例第六條ニ規定
スル廳府縣長官ノ官等等ノ特例ニ關スル件ニ
付本官等審査委員タルノ命ヲ承ケ三月二十八
日委員會ヲ開キ當局大臣及關係諸官ノ辯明ヲ
聽キ以テ之ガ審査ヲ遂ゲタリ

當局大臣ノ説明ニ依レバ地方行政協議會ノ制
度ハ昭和十八年七月戰時下地方行政ノ重要性

ニ鑑ミ所謂府縣割據ノ弊ヲ防除スルト共ニ都
廳府縣及特別地方官衙間ノ施策ノ綜合的運營
ヲ具現シ以テ各種地方官廳一體ト爲リテ戰時
地方行政ヲ振作セシメンガ爲創設セラレタル
ガ其ノ後戰局ノ推移ニ伴ヒ地方ニ於ケル政府
諸施策ノ迅速適確ナル滲透實踐ヲ期スルノ要
益々緊切ト爲リ本制度ノ活潑ナル運營ニ俟ツ
ベキモノ漸ク多キヲ加フルニ至リ政府ニ於テ
ハ之ニ則應シテ地方行政協議會長タル地方長
官ノ權限強化輔佐機關ノ整備等ノ措置ヲ採リ

來レリ然ルニ最近戰局頓ニ緊迫シ眞ニ容易ナ
ラザル事態ト爲レルヲ以テ政府ニ於テハ之ニ
對處スベク諸般ノ緊急施策ヲ講ジ以テ防衛ト
一般行政トノ吻合並ニ施策運營ノ迅速ナル滲
透實踐ヲ圖リ國內總力ヲ擧ゲテ生産及防衛ノ
一體の強化ヲ期セントス從テ地方行政協議會
長タル地方長官ハ今後軍管區司令官及鎮守府
司令長官ト並ビ地方ニ於ケル行政諸機關ノ中
樞的存在トシテ政府諸施策ノ實施ニ關シ重大
ナル責務ヲ負擔スルコトト爲レルヲ以テ此ノ

際右地方長官ノ地位ヲシテ眞ニ此ノ重責ニ相
應スルモノタラシメントシ茲ニ本勅令ヲ立案
シ本院ノ詢議ニ付セラレタルモノナリ而シテ
本案ノ定ムル所ハ戰時行政職權特例第六條ニ
規定スル廳府縣長官即チ地方行政協議會長夕
ル北海道廳長官及府縣知事ハ親任トシ其ノ俸
給ヲ年俸六千二百圓ト定メ府縣知事ノ指定地
加俸ハ之ヲ給セザルモノトスルニ在リ
按ズルニ本案ハ現下ノ地方行政ノ重要性ニ鑑
ミ之ガ統一推進ニ膺ル特定ノ地方長官ノ地位

ヲ昂上セシムルコトヲ趣旨トスルモノニシテ
別ニ支障ナキモノト認ム仍テ審査委員會ニ於
テハ本案ハ此ノ儘之ヲ可決セラレ然ルベキ旨
全會一致ヲ以テ議決シタリ
右審査ノ結果ヲ報告ス

昭和二十年三月二十九日

審査委員長

樞密顧問官

窪田靜太郎

審査委員

樞密顧問官男爵松井慶四郎

樞密院議長男爵鈴木貫太郎殿

樞密顧問官

潮 惠之輔

樞密顧問官

深井 英五

樞密顧問官

大島 健一

樞密顧問官

泉二 新熊

樞密顧問官

百武 三郎